



「イノベーション思考の人財が育つまち」を目指して

食と文化を楽しもう 世界+岐阜 で未来が変わる

WORLD FESTA GIFU 2016
ワールドフェスタぎふ2016

事業報告書

はじめに

公益社団法人岐阜青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、ひとづくり・まちづくり団体として、まちの次代を見据えた運動を展開してきました。ぎふのまちは、誇れる歴史背景、豊かな自然を有し、住み暮らす人々に豊かな生活をもたらしています。また、まちを愛する市民、まちの思いを具現化する行政、そんな市民を支える企業にも恵まれています。一方で、ぎふのまちで生まれ育つ人々は、住み暮らし易い現状の環境に一定の満足感はあるが故に、保守的な傾向があり、自ら新たな価値を生み出す行動をとらない傾向にあります。このような市民に対し、ぎふのまちが持つ友好姉妹都市提携（アメリカ合衆国シンシナティ市、イタリア共和国フィレンツェ市、オーストリア共和国ウィーン市マイドリング区、カナダサンダーベイ市、中華人民共和国杭州市、ブラジル共和国カンピーナス市）という魅力から友好姉妹都市の人々が持つ多様な価値観を知ることは、現状に満足し変化することを求めない傾向にあるぎふのまちの人々の視野を広げ、変化を生み出すきっかけとなります。そのため本年度は、まちの魅力を活用した賑わいの可能性を市民に示すことで、自らの手でまちを変えていこうという意識を育み「イノベーション思考の人財が育つまち」を目指し、友好姉妹都市が持つ多様な価値観に対して、ぎふのまちが持つ資源を組み合わせることで変化をおこす「世界+岐阜で未来が変わる」をテーマにWORLD FESTA GIFU 2016を実施する運びとなりました。

JCI Junior Chamber International Gifu
公益社団法人 岐阜青年会議所
2016年度 まちの誇り確立委員会

1 実施目的と事業構築のフロー

事業実施の目的

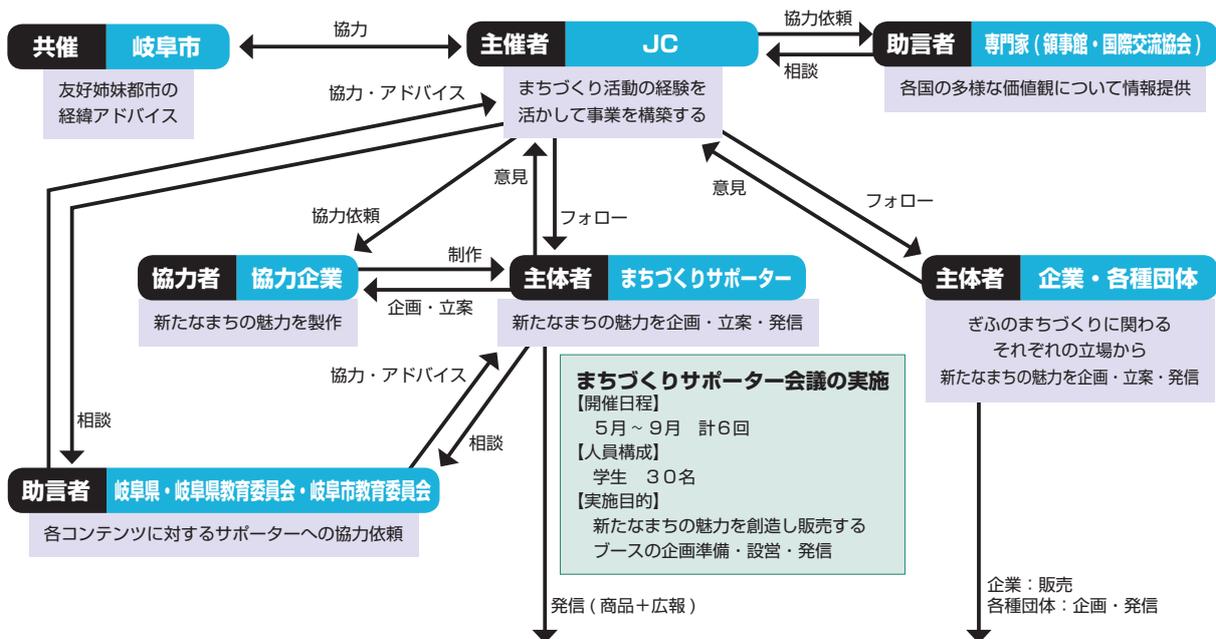
友好姉妹都市をはじめとする世界の食や文化を体験していただくと共に、多様な価値観とまちの資源を合わせ新たな魅力を生み出す事業を実施する。新たな魅力がまちの賑わいの可能性となることで、市民が自らの手で変化を創出し、まちを変えていこうという意識を育む。企業や各種団体には世界の多様な価値観と身近なまちの資源を合わせ、新たなまちの魅力を創出することでまちの賑わいに対する主体者意識を育んでいただく。来場者には、多様な価値観と新たなまちの魅力を感じることで、まちの変化への期待を感じていただく。

事業の構築

WORLD FESTA GIFU 2016では以下の属性の人々と市民を対象に事業構築を行いました。

	市民	サポーター	企業・各種団体
現状	現状で良いという認識がある	まちづくり活動に興味がある	まちが発展的に変化することを望んでいるが関わりが少ない
課題	夢や目標が描けないため まちに期待を持ってない	活動の機会が少ないため 関わり方を知らない	具体的に何をすれば 良いのかわからない
課題の解決方法	楽しい・美味しい・驚きなどによって 興味を持ち、共感することで まちに対する期待をすること	事業に関わることで得た 成功体験により自信を持つこと	新たなまちの魅力を創出すること
どうなってもらうか？	まちの変化への期待を感じる	まちに変化を創造したい という意欲に繋げる	まちの賑わいに対する 主体者意識を育む

目的達成のための協力者とJCの関わり方



WORLD FESTA GIFU 2016

【日程】 2016年8月27日(土) 10:00~19:00

【実施会場】 みんなの森 ぎふメディアコスモス

【集客結果】 21,403人

企業が主体となり実施したコンテンツ



世界+岐阜フードブース（企業）

ぎふのまちの企業が主体となり、友好姉妹都市をはじめとした世界の国々の食文化とぎふの食材などの資源を組み合わせ、新たなぎふのまちの魅力となる商品を企画・販売しました。

来場者に対して、世界+岐阜で創った新たなまちの魅力を体感していただくことを目標に実施しました。



HOT！世界のフードブース

ぎふ及び近郊地域で営業する企業を主体として、友好姉妹都市をはじめとした世界の国々の食をテーマとしたブースを20店舗出店し、普段のぎふのまちでは味わうことができない非日常的な空間を創出しました。来場者には、各ブースを通して、ぎふのまちにない新たな魅力を体感していただくことを目標に実施しました。

各種団体が主体となり実施したコンテンツ



HOTな夏を吹き飛ばせ～GIFU ME WATER～

ぎふの学生団体 岐阜人（ギフト）が主体となり、アジア圏をはじめとする多くの国々で夏の時期に行われている“水かけ祭り”をぎふのまちで行いました。水源には長良川の伏流水を10t使用し、趣向の違った2つの水かけ祭りを総勢400名の参加者と楽しみました。参加者にはぎふのまちの新たな可能性を感じていただくことを目標に実施しました。



最新HOTな遊び～海外の小学生って何しとんの？～

ぎふの学生団体 I FU（イフユー）が主体となり、ぎふの友好姉妹都市6都市のポピュラーな遊びをワークショップを通して紹介しました。企画・運営については、各国の学生とSNS等を通じて交流を図り、生の声を調査したものを当日体験していただけるよう、取り組みました。参加者には各国の遊びを通じて世界の多様な価値観を体感していただくことを目標に実施しました。



スタンプラリー

メディアコスモス館内にて、ワークショップと合わせてスタンプラリーを行いました。参加者には、友好姉妹都市の遊びについてのクイズを通して世界の多様な価値観を知り、楽しんでいただくことを目標に実施しました。



HOT&NEWジャンル 民謡ダンス～OBABA～

民謡に親しみのない10代～20代の男女を主体としたダンスチーム約20チームがアメリカ発祥のヒップホップダンスとぎふのまちの民謡“おばば”合わせて新しい創作ダンスの発表会を行いました。参加者には、ぎふのまちの新しい魅力としてダンスを楽しんでいただくと共に、ぎふのまちの民謡を改めて知ることによってぎふのまちという故郷を知っていただくことを目標に実施しました。



驚き！マジックソルベをつくらう

NPO法人クローバーが主体となり、イタリアのシャーベット“ソルベ”を作るワークショップを行いました。体験者（主に子供たち）には、ぎふの資源である雄総のブドウを使ったマジックソルベの製作を通して、ぎふの持つ魅力を知り、楽しんでいただくことを目標に実施しました。



キッズアート

ぎふの幼稚園児を対象に“ぼく・わたしの世界”をテーマに自由な発想のもと自分の思い描く世界を表現していただきました。

来場者には、ぎふのまちの将来を担う若い世代の表現や考えを絵を通して体感していただくことを目標に実施しました。

まちづくりサポーターが主体となり実施したコンテンツ



世界+岐阜フードブース（まちづくりサポーター）

ぎふの学生から構成されたまちづくりサポーターが主体となり、友好姉妹都市をはじめとした世界の国々の食文化とぎふの食材などの資源を組み合わせ、新たなぎふのまちの魅力となる商品を企画しました。世界+岐阜で創られた企画は協力企業によって商品となり、新たなまちの魅力を創出しました。

3 事業実現のプロセス例

まちづくりサポーターの事業実現プロセス

まちづくりサポーターの募集 → 友好姉妹都市の多様な価値観を調査 → 商品開発 → 学生ら発案メニュー販売 → まちの新しい魅力の実現 → WFG2016にて販売を実施 → 商品化

フォーカスポイント

まちづくりサポーターは、ぎふの資源と友好姉妹都市について調べ、合わせるということで新たなぎふのまちの魅力になる商品プランを創ることに挑戦しました。検討した商品を協力企業に提案したところ、プロとしての現実的な厳しいご意見もいただきました。「多くの企業様からも学生の熱意が凄かった。斬新な意見をもらった。」とご意見をいただくなど互いに良い影響を受けながら事業を実現しました。事業終了後も自社店舗で販売を続けたいという企業様もいらっしゃいました。

学生団体の事業実現プロセス

学生団体の募集 → 世界の多様な価値観を調査 → コンテンツ内容の企画 → まちの新しい魅力の実現 → WFG2016にてコンテンツを実施 → クラウドファンディングによる資金調達

フォーカスポイント

普段は各々の目的で活動している学生団体に協力依頼をして事業構築に参加していただきました。ぎふの資源とは何か。何度も議論を繰り返してその資源をさらに高めるために、世界にある多様な価値観を検討し、互いを合わせることでぎふに今まで無かった水かけ祭りを行って夏を盛り上げたいという答えを導き出しました。事業を実現するための資金集めは、クラウドファンディングを活用し、事業実施の目的や意義をネット上で伝えることで目標の140%達成。発案から企画、運営まで手法を学びながら運営成功に繋げることができました。

4 広報活動

本事業の告知について様々なメディア媒体を用いて、広報活動を実施しました。市民に対して話題となるもの、写真などイメージが伝わり易いよう工夫をし、学生や協力団体と複数回訪問活動を実施しました。結果、以下の通りに各種メディア媒体に広報記事として採用されました。また、顔抜きパネルの活用で3948名のFacebookページのシェアを行うことができました。

5月	告知用顔抜きパネル（岐阜新聞・中日新聞）
6月	広報ポスター（岐阜新聞・中日新聞） 告知記事（aun・咲楽・月刊ぶらざ）
7月	告知記事（岐阜市咲楽）
8月	学生サポーターによる広報記事（岐阜新聞・中日新聞） FMぎふ2回出演
事業実施後	事業実施の記事（岐阜新聞・中日新聞・朝日新聞・中日新聞ニュース）



多方面への広報活動



顔抜きパネルの活用

5 考察

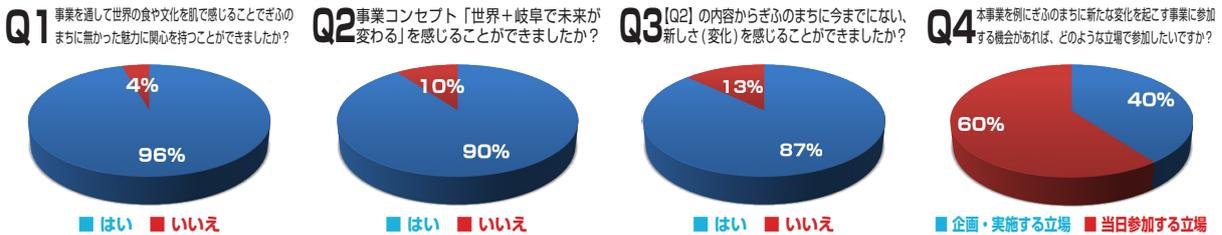
① 事業実施における主体者の変化について

	市民（企業・各種団体含む）	岐阜JC	評価
従来のまちづくり事業	参加する立場	行政と協しまちづくり事業を実施	市民参加型のまちづくり
WFG2016	主体的に企画・運営を実施	市民・行政とともにまちづくり事業を実施	市民主体のまちづくり（まちづくりのあるべき理想の姿）

今回のWORLD FESTA GIFU 2016においては、まちづくりサポーターをはじめとした市民の参画が顕著にみられ、まちづくりの主体者が岐阜JCから市民へと転換するきっかけを作ることのできた事業になったと考えます。特に各実施コンテンツにおいて、運営を担当するまちづくりサポーターや企業、学生団体から積極的な意見を多数いただき、市民が望むまちづくり事業が実施できたと考えます。

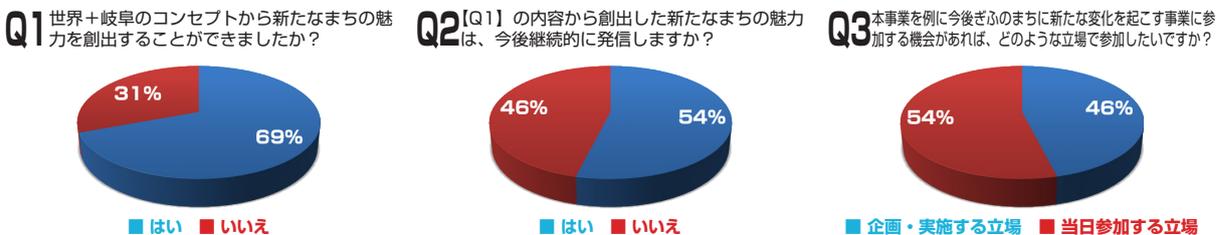
② 事業実施結果の評価について（アンケート、インタビューより）

課題解決方法の達成度について検証結果 来場者アンケートより



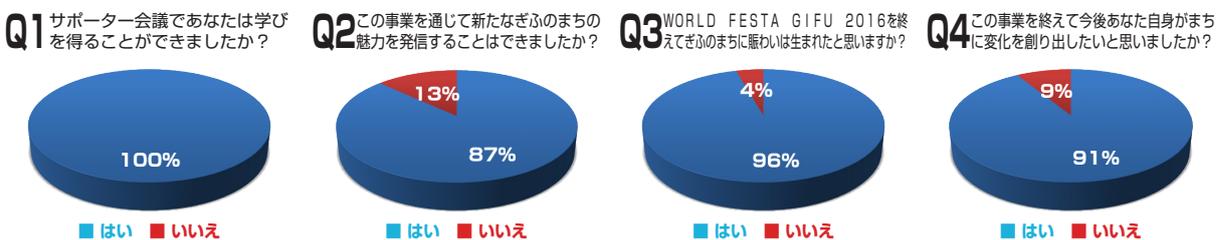
検証結果のまとめ	
Q1	参加していただいた方々に友好姉妹都市の多様な価値観とぎふのまちに無い新たな魅力を十分に感じていただくことができました。
Q2 Q3	友好姉妹都市の持つ多様な価値観とぎふが持つ資源を組み合わせ、まちの新たな魅力を創出することで、まちの変化の可能性を体感していただくことができました。
Q4	来場者は当日参加する立場のみであったが、次の機会には企画・実施をしたいと思える方が40%となりました。

課題解決方法の達成度について検証結果 参加企業・各種団体様アンケートより



検証結果のまとめ	
Q1	友好姉妹都市の持つ多様な価値観とぎふが持つ資源を組み合わせ、まちの新たな魅力を創出していただくことができました。
Q2	事業を通じて生まれた魅力を継続して自社で提供していくという意見がある反面、当日出店者が多すぎて売り上げが伸びなかったが、まちづくり活動に継続的に参加するきっかけを作ることができました。
Q3	出店者数が多く、当日の売り上げに影響した結果はあるものの、来場者に比べると6%高い結果となりました。

課題解決方法の達成度について検証結果 まちづくりサポーターアンケートより



検証結果のまとめ	
Q1	まちづくりサポーター会議を通して、次代を担うまちづくりの主体者として学びを得ていただくことができました。
Q2 Q3	自らが創出した新たな魅力からまちの賑わいを生み出すという成功体験をしていただくことができました。
Q4	まちづくりサポーターが、事業をとおして得た成功体験とから、まちの変化の可能性を感じ、主体者意識を持ってまちづくり活動に継続的に参加するきっかけを作ることができました。

以上より、**本事業を通して、自らの手でまちを変えていこうという意識を持つ「イノベーション思考の人財が育つまち」を形成するきっかけを作ることができました。**

③ 今後の課題

- ・参加者が主体的にまちづくり活動に参加したいという意識づくりをより一層意識した事業形成が必要だと考えます。
- ・学生団体以外にも一般のまちづくり活動を行う団体と積極的に協働を計画し、まちづくり活動の輪を広げる必要があると考えます。

6 協力企業・団体一覧（順不同）

共催： 岐阜市

後援： 岐阜県 岐阜県教育委員会 岐阜市教育委員会 岐阜商工会議所 （公財）岐阜市国際交流協会
 在大阪イタリア総領事館 オーストリア大使館 在名古屋カナダ領事館
 中華人民共和国駐名古屋総領事館 在名古屋ブラジル総領事館

協力： 在名古屋米国領事館

協力企業・協力団体：

協力団体	学生団体 岐阜人	学生団体 I F U	NPO法人 クローバー	
企画・運営協力企業	山県市早矢仕ライス研究所 cafe HIFUMI(カフェヒフミ) J A ぎふ岐阜市いちご部会 餃子道 NOT CURRY	山川醸造株式会社 株式会社大塚製菓 長良ういろ 長良川フレーバー J A めぐみの	株式会社ビタミンパン連鎖 株式会社緑水庵 株式会社イマイ 山県市香り会館 株式会社 吉野屋	株式会社長良園 スパーダ 株式会社藤澤酒店 株式会社水生活製作所
フードブース出店企業	オクトバスファイヤーズ たっぷりケバブ ケーズカンパニー ぶんごや モグ	ヒッチングポスト グーテライゼ 森本工房 スマイリドック ㈱アラビア産業	K I ZUNA おぎのや さくらや レッツオ ユーキャン	ゼルビーノ嘉藤 サンダディ Sayulita グランパベル TRITON西倉
出場ダンスチーム	Booty BHS KID east summer ピンキー&スマイル ANIANE	TEAM SCREAM funny G-girl's ARMY グリーンエンジェルズ	Dark Joker RAMUNE 長森南中バレエ部 風花蓮 E. T+1	デュウユース Team あっばれ チーム岐阜美少女図鑑 デュランダル

まとめ

WORLD FESTA G I F U 2016の最大の特徴は変化を連続させることにあります。今回の事業スキームは、岐阜青年会議所が企業や各種団体に対して、現状・課題・課題解決の方法を提案し、事業構築を共に行うことで、様々な変化を創出し、多くの来場者に体感していただくことです。これは共に創り上げることで、各々が自らの手で変化を創り出すきっかけになると考えたからです。まちの賑わいの創出は単体や単発では成し得ません。市民が自らの手でまちの持つ可能性を知り、変化させていくことで変化が連続し、まちに新たな魅力が生まれ、まちの賑わいに繋がると考えます。

公益社団法人 岐阜青年会議所 まちの誇り確立委員会 委員長 小森常宏

発行	公益社団法人 岐阜青年会議所 2016年度 まちの誇り確立委員会				
編集責任者	副理事長	篠田 修司			
	室長	臼井 規郎			
委員	委員長	小森 常宏	市橋 拓	永井 隆章	
	副委員長	青山 友彦	小野木 真悟	笠原 孝代	三輪 哲久
		大沢 英太郎	白木 健	末吉 慕宜	兼山 英治
		黒宮 崇宏	白木 健	渡邊 洋平	棚橋 栄太
		日比野 正樹	渡邊 洋平	渡場 将治	浅井 康成
		稲木 孝紀	白井 伸一郎	馬場 浩三	